

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社  
代表者名 取締役社長 小 林 浩  
(コード番号 2282 東証・大証第一部)  
問合せ先 広報IR部長 中 島 茂  
TEL 06-6282-3031

### 当社元従業員による不正行為に関するお知らせ

今般、当社の連結子会社である日本物流センター株式会社（代表者：青山英博、本社：川崎市川崎区、以下、NBC）において、当該会社の経理業務の責任者（当社からの出向者）であった当社元従業員（以下、元従業員）による不正（会社資金の私的流用）が行われていたことが判明いたしました。当社の連結子会社においてこのような事態が生じたことは遺憾であり、株主、取引先の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしますことを、深くお詫び申し上げます。

#### 記

#### 1. 不正行為の概要

本件につきましては、平成23年10月、NBCの現経理担当者から経理伝票に不審なものが含まれているとの報告があり、会計データ等を精査したところ、経理責任者であった当該元従業員（男性、39歳）がその立場を利用し、会社資金を数十回にわたって不正に引き出し、私的な用途に流用していたことが判明しました。

外部の専門家のアドバイスをうけながら社内調査を行った結果、現時点で明らかになった不正流用額は、①日本フード東海株式会社（現関東日本フード株式会社）に在籍中の平成7年7月から平成8年9月において約90万円 ②NBCに在籍中の平成15年5月から平成22年2月において約112百万円 合計約113百万円であります。

#### 2. 当社の対応について

当該事案発覚後、当社において直ちに社内調査を実施し、当該元従業員については既に懲戒解雇処分といたしました。当社は、当該元従業員に対する刑事告訴の準備を進めるとともに、民事訴訟の提起も含め不正流用資金の回収を行うべく、顧問弁護士と協議を行っております。当社グループは今後、捜査当局に協力し、事件の全容解明に努めてまいります。

#### 3. 過年度の連結財務諸表および平成24年3月期の業績への影響

当該不正行為による被害金額相当額については当社の連結決算に与える影響は軽微であると判断しております。また、当該被害金額のうち一部については、既に平成22年3月期までの過年度決算において費用処理されております。尚、本件が過年度決算に与える影響も軽微と考えておりますが、訂正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

#### 4. 再発防止策について

日本ハムグループは「日本ハムグループ行動基準」を定め、これを全役職員に周知徹底し定着を図ることで、コンプライアンスを軸としたグループ経営を推進してまいりましたが、この度このような不祥事が発生したことを厳粛に受け止めております。今後は内部統制システムの定着をより一層推し進め、その実効性を高めることで、再発防止に努めてまいります。

具体的には、以下の施策を実施いたします。

- ①不定期な社内モニタリング等による社内諸規定遵守状況等の徹底確認
- ②手元現金の極小化及びキャッシュ・マネジメント・システムによるグループ支払業務の一層の集中化
- ③経理財務業務のグループ内シェアードサービス化の一層の推進（専門子会社への経理業務の集中化によるチェック機能の強化）
- ④定期的な人事ローテーションによるリスク軽減

加えて、長年にわたり不正を発見できなかった管理責任に鑑み、関係者の厳正な処分を実施いたします。

尚、本件に関して、開示すべき新たな事実が判明した場合や何らかの決定を行った場合には、改めてお知らせしてまいります。

以上